

## 吹奏楽部を活かした防災教育 ～音楽と防災のコラボレーション～



愛知県豊田市立竜神中学校 少年消防クラブ  
指導者 杉浦 友香

### 1 はじめに

豊田市は人口約42万人、面積のおよそ7割が森林という緑豊かな場所です。本校は市の南部に位置し、田園風景に囲まれたのどかな地域です。自治区との結びつきが強く、地域で子どもを育む風土があります。

東日本大震災や熊本地震を受け、地域防災力を高める一方で、災害時には避難所運営のお手伝いをするなど、中学生が地域の防災活動の担い手として期待されるようになってきました。

そのため、本校では、避難所運営班との交流、地域の消防署や消防団と協力した避難訓練の実施、少年消防クラブの活動など、防災意識を高め、地域で活躍できる中学生の育成に取り組むようになりました。

### 2 活動紹介

#### (1) 学校としての取組

##### ア 地元の消防署・消防団との合同訓練

毎年4月に、消防署との合同訓練を実施し、災害発生時の初動体制を確認しています。傷病者と搬送者を生徒が演じてトリアージ訓練を実施するなど、災害対応力の向上



消防本部との合同訓練（集団救急 トリアージ訓練）

に努めています。

#### (2) 吹奏楽部を活かした防災活動

##### ア 地域とともに

地域の自主防災会の訓練や交流館が主催する防災イベントに参加し、演奏の発表とボランティア活動を行いました。

中学生の活動に地域の関心も高く、多くの観客の前で、日ごろの練習の成果を発揮できました。吹奏楽部員による防災啓発の発表も行いました。

こうした取組が地元消防団の目に留まり、女性消防団による「防災パネルシアター」の実施、消防団員の指導による各種防災訓練の実施など、消防団との連携を通して実践力の向上に努めています。少年消防クラ



地元消防団の式典参加



地元消防団との交流

ブ交流会（全国大会）に向けての訓練指導にも消防団が協力し、昨年度の全国2位に続き、今年度全国1位の成績を収めることができました。

### イ 地域から市へ発展

「安全・安心フェスタ」など、豊田市主催の防災イベントに参加しました。音楽に合わせて手話や合唱を披露したり、演奏の合間に消火器の使用方法を寸劇で説明したりしました。演出を吹奏楽部員が考え、防災に親しみがもてるよう工夫し、観客にも好評でした。消防団ブースにも参加し、防災パネルシアターを上演するなど、命を守る大切さを伝える活動を行いました。

### ウ 中学生から子どもへ

地域主催の防災イベントに継続して参加することで、中学生自身の防災意識や防災対応力が高まり、当たり前になり防災活動ができるようになってきました。次第に、教えてもらう活動から、小学生や幼稚園児に教



市のイベント「交通安全・防災フェスタ」

える活動が増えてきました。

## 3 活動の成果

地域の防災活動や豊田市主催の防災活動に参加することで、中学生の防災意識が高まりました。

その結果、演奏の機会がなくても、ボランティア活動のためだけに、吹奏楽部全員が地域のイベントに参加するなど、社会貢献に対して、高い意識をもつ生徒の育成につながっています。

また、地域とのふれあいや地元消防団との連携を通して、生徒が地域に目を向けるようになりました。将来は消防団員として地域に貢献したいと考える生徒も表れました。

## 4 今後の展望

吹奏楽部では、今後も地域や市の防災活動に参加し、中学生が地域防災力に貢献できる体制づくりに努めていきたいと思えます。

学校では、少年消防クラブの活動に加え、日々の学びの中で身を守る知恵を高めていこうと考えています。

こうした活動を通して、生徒たちが地域の防災に関心をもち、地域の防災活動の担い手として活躍する日が来ることを願っています。



市イベント「防災ステージ」



市イベント「消防団ブースでのボランティア」